

『特定健診』の
真のねらいを知ろう！

[illegible]

『特定健診』の真のねらいを知ろう！

LDL(悪玉)コレステロールnonHDL(非善玉)コレステロールとは？

ご挨拶

平成20年4月から、「特定健診」が開始され、昨年第一期の5年が経過しました。その成果が公表され、体重の3%減少が、血圧、トリグリセライド(TG)、血糖値、HbA1Cの低下をもたらし、HDL-コレステロール(HDL-C)を上昇させるということが判明しました。これらのデータはその帰結として脳血管疾患(脳梗塞や脳出血など)や心疾患(心筋梗塞や狭心症など)を予防するのではないかと期待されているところです。

特定健診のことをメタボ健診とニックネームがつけられていることはご存知のことかと思いますが、なぜかメタリックシンドロームの診断基準には含まれていないLDL-コレステロール(LDL-C)が測定項目に入っています。これは、LDL-Cが心疾患や脳血管疾患に深くかかわっているからなのですが、最近、総コレステロール(TC)からHDL-Cを差し引いたnon HDL-Cという測定項目がLDL-Cに勝るとも劣らない関連を有しているのではないかと注目されています。TCもHDL-Cも食事の影響を受けることなく、しかもTCは古くから使用されている測定法で、測定精度も高いことがわかっています。また私どもの研究班では、HDL-Cの測定精度も高いことを示してきました。

そこで、私どもの研究班では、non HDL-Cがどれくらい心疾患や脳血管疾患の予測因子として優れているのか、わが国の研究を中心に検討してまいりました。

本研究成果発表会では、特定健診にnon HDL-Cを導入することの可能性も考えて、その科学的根拠について、これまでの研究成果を発表し、皆さんと議論を交わしたいと考えています。このような議論をもとに、次回の特健健診にnon HDL-Cという測定項目を導入することを提案したと考えています。ぜひとも皆さんのご意見を伺いたいと思います。

平成27年1月31日

厚生労働科学研究(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業)

non-HDL等血中脂質評価指針及び脂質標準化システムの構築と基盤整備に関する研究

研究班班長 寺本 民生

13:00~16:00

1. 特定健診の真の目的は？

研究班班長 寺本 民生

2. 心臓病・脳血管疾患の危険因子とは？

中部大学教授 横山 信治

(休憩)

3. LDL-C・HDL-Cの測定法について

国立循環器病研究センター室長 西村 邦宏

4. non HDL-C測定の意義

慶應義塾大学教授 岡村 智教

5. 質疑

M E M O



寺本 民生

昭和48年東京大学医学部卒業

東京大学第一内科、シカゴ大学を経て、帝京大学内科主任教授、医学部長。

平成25年より帝京大学臨床研究センターセンター長、寄附講座臨床研究医学講座
特任教授



横山 信治

昭和47年東京大学医学部卒、同第三内科、シカゴ大学、国立循環器病センターから
昭和63年カナダ・アルバータ大医学部教授。平成7年から名古屋市大で生化学教授、
医学部長、副学長など、平成23年より中部大学応用生物学部教授・次世代食育研究
センター長



西村 邦宏

平成8年京都大学医学部卒業、京都大学総合診療部、聖路加国際病院内科、ハーバード
大学公衆衛生大学院を経て、神戸大学立証検査医学講座准教授、平成21年より国立循
環器病研究センターEBM・リスク解析室室長、藤田保険衛生大学客員教授



岡村 智教

昭和63年筑波大学医学専門学群卒業

大阪府立成人病センター、滋賀医科大学福祉保健医学講座、インペリアルカレッジ(ロンドン)、
国立循環器病研究センター予防健診部長を経て、平成22年より慶應義塾大学医学部衛生学
公衆衛生学教授